

海・山・人がつながり笑顔で暮らせる元気なまち ～リラックスタウン日向～

令和元年度 市長と語るまちづくり座談会

テーマ 未来へつなぐまちづくりに向けて



リラックスタウン 日向

RELAX TOWN HYUGA

この座談会は、人口減少社会の到来など本市を取り巻く環境が厳しくなる中で、未来に向けて市民が笑顔で元気に暮らし続ける日向市の実現を目指して、市政の現況を報告し、市民の皆さまからまちづくりに対する提案やご意見をお聴かせいただくことを目的としています。

皆さまの声を、まちづくりの基本的な指針である「総合計画」や「総合戦略」策定などの参考にさせていただきますので、忌憚のないご意見をお聞かせください。



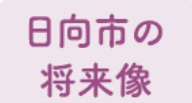
【会次第】午後7時～8時30分

1. 開会、市長あいさつ
2. 報告：昨年度座談会での主な意見
3. 説明：各種事業の実績や今年度の取組など
4. 意見交換：未来へつなぐまちづくりに向けて
5. その他

MEMO



総合戦略及び総合計画に基づく事業実績〈H28〜〉



海・山・人がつながり
笑顔で暮らせる元気なまち

戦略1

未来へつなげる人づくり戦略

郷土愛を持ち、社会に貢献する元気な若者を育てます

“ひゅうがっ子”の学力向上に取り組み、学ぶ環境を整えます

- ▶教育委員会の指導主事を2名増員し、5名体制としました
- ▶少人数教育非常勤講師を3名から5名に拡充しました
- ▶学校にタブレットPCや校務支援ソフトを導入し、学校ICT化を進めました
- ▶優秀なALTを採用し、外国語教育の充実を図りました
- ▶耐震性が低い校舎の改築を年次的に進めています
- ★**市内全小中学校にエアコンを設置する工事に着手しました**

▶新入学学用品費の就学前支給を行えるよう制度を改正しました

自ら学び、夢に向かって挑戦する“ひゅうがっ子”を応援します

- ★**「子どもの夢サポート事業」を立ち上げました**
- ▶各中学校区に学校図書館司書を配置しました

たくましく生きる力を備えた“ひゅうがっ子”を地域で守り育みます

- ▶キャリア教育の取り組みが認められ、3年連続で文部科学大臣表彰を受けました
- ▶県立高校の魅力向上を支援する補助金を設けました
- ▶日向高校と県内初の包括連携協定を結び、課題型学習への支援を行いました

★「日向市高等学校の未来を考える研究会」を発足しました

若者が自ら学び成長する場を作り、自由な発想をまちづくりや地域活動に生かします

- ▶人財づくり事業「日向ドラゴンアカデミー」を開講しました

地域資源や伝統文化を「知る」「見る」「感じる」ことで、故郷への誇りや愛情を育みます

- ▶「ふるさと再発見事業」を立ち上げました
- ▶「牧水没後90年記念事業」など若山牧水の顕彰事業に取り組みました

基本目標別の施策

教育文化

- ・自治公民館の新築・改修・修繕・備品整備に対する助成を実施
- ・「全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」の制定（LGBT職員研修・レインボーフラッグ）
- ・幼児教育の推進に向け「スタートカリキュラム」を作成
- ・文部科学省の指定を受け「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実践中

産業振興

- ・横須賀市久里浜港との定期航路実現を目指し官民挙げた連携を開始
- ・延岡・日向地域が林業成長産業化地域に選定
- ・三重県熊野市と基石と神武東征がつなぐパートナーシップ協定を締結
- ・「地域特産物リキュール特区」に認定
- ・中小企業振興条例の制定に着手

生活環境

- ・「空家等対策の推進に関する条例」及び「特定空家等の認定基準」の制定
- ・「日向市水道ビジョン」や各事業の経営戦略を策定
- ・水道料金と下水道使用料のコンビ二納付を開始（H30.11〜）
- ・消防署南分遣所の移転に着手
- ・富島幹線用水路取水口にポンプ場を設置

戦略2

活力を生み出すにぎわいづくり戦略

若者が魅力を感じる活力に満ちたまちをつくります

「リラックス・サーフタウン日向」を全国に発信し、若者を呼び込みます

- ▶サーフタウン日向基本構想を策定しました
- ▶サーフィン国際大会を3年連続でお倉ヶ浜に招致しました
- ▶豊かな海岸資源を活用してビーチスポーツフェスを2年連続で実施しました
- ▶地元の食材をテーマに有名シェフが腕を振るう食の祭典を実施しました
- ★**ヒュー!日向プロモーション動画を3本制作し、全国から注目を集めました**
- ▶サーフィン利用客数が急増し、平成29年度は年間30万人を超えました

若者を中心に、世代を超えて人が集まれる魅力ある交流拠点をつくります

- ▶プロや社会人、大学生などのスポーツキャンプ受け入れを行っています
- ▶企業主導型保育事業を行う企業を誘致し、旧幸脇小跡地を活用しました

地元企業の新たな挑戦ややる気のある若者、女性の起業を支援します

- ★**「ひむか-Biz」「しごと創生拠点」を開設しました**
- ▶「地域雇用創造協議会」で新たな雇用創出に取り組んでいます

地域資源を生かした地域ブランドの開発や販売促進に取り組みます

- ▶日向市農林水産業振興計画を改訂しました
- ▶県内初となる「木材シンポジウム」を開催しました
- ▶へべすの生産拡大を図るため県下全域に苗木の提供を行いました
- ★**細島いわがきの生産量が県内第1位となりました（H25:0.8t→H30:30t）**

次世代産業の企業誘致を推進し、働く場所を確保します

- ★**3年間で12社による企業立地（新設・増設）が進みました**
- ★**急増する木材搬出量に対応する細島港16号岸壁の整備が決定しました**
- ▶医療機器関連産業へのトップセールスに努めています

魅力ある観光拠点をつくり、滞在型観光客の増加を目指します

- ▶日向岬の柱状節理が「国の天然記念物」に指定されました
- ▶県内初となる「みなとオアシスほそしま」が誕生しました
- ▶良好な眺望スポット創出のため市民植樹や雑木伐採を行いました

都市部の若者をターゲットにU I Jターンを促進します

- ▶3年間の移住者が88世帯148人（うちサーフィン関係22人）
- ▶お試し滞在施設の運用を開始しました（45組が延べ347日間活用）

スポーツや教育・文化など多分野における人やモノの交流を促進します

- ▶東京五輪に向け「アメリカ」「トーゴ(アフリカ)」のホストタウンに登録されました
- ▶平成31年度全国高校総合体育大会「男女ソフトボール競技」を誘致しました
- ▶2巡目宮崎国体に向けて各種競技の誘致に取り組んでいます

健康福祉

- ・新庁舎に授乳室やキッズコーナー、窓口に筆談ボードを設置
- ・本市出身及びゆかりの医師・看護師・医学生等との意見交換会を毎年開催
- ・福祉・健康・高齢者関係の各種計画・プランを策定
- ・国民健康保険税納期の見直し（8期→10期）

社会基盤

- ★**土地区画整理事業や道路整備の計画的な推進**
- ・金ヶ浜園地等を含む全市緑化の推進
- ・「日向市都市計画マスタープラン」の見直し、公表

戦略3

笑顔で暮らせるまちづくり戦略

若者も安心して住み続けられるまちをつくります

若者も安心して暮らせる環境を整えるために、防災基盤を整備します

- ★**避難タワーや県北初となる避難山など避難施設を13カ所整備しました**
- ▶防災拠点・まちづくりの拠点としての新庁舎を建設しました
- ▶大災害に備えて「日向市備蓄計画」「日向市業務継続計画」を策定しました
- ★**音声合成ソフトを活用し防災情報伝達手段の多重化を図りました**

「自助・共助・公助」による安全で安心なまちをつくります

- ▶防災士が3年間で111人増え、平成27年度の1.6倍となりました
- ▶防災訓練への年間参加者が2万4千人と、平成27年度比で2.7倍増加しました
- ▶多くの団体や企業等と災害支援協定を締結しました（3年間で17協定）

市民が住み慣れた場所で暮らし続けられる利便性の高い生活拠点を形成します

- ▶地域と行政のつなぎ役として「地域担当職員制度」を創設しました
- ▶ぶらっとバスの利便性向上に向け日祝運行を開始しました

全ての世代が元気に自立した暮らしを続けられる健康長寿のまちをつくります

- ▶「地域包括ケアシステム」のトップランナーとして更なる深化を進めています
- ★**介護保険料を県内9市の中で一番低い水準に抑えることができました**
- ▶小児科の新規開業が実現しました
- ▶特定健診・後期高齢者健診の受診率や特定保健指導実施率が上昇しました
- ▶企業と地方創生に関する協定を締結しました

市民がスポーツに親しみ心豊かに健康的な生活を送れる環境をつくります

- ▶スポーツ施設整備基本構想を策定しました

★日向市総合体育館建設基金を造成しました

子育て環境を充実し、地域で若者の子育てを支援します

- ▶県北初の「病児保育事業」を開始しました
- ▶放課後児童クラブを3年間で4クラス増設し、6校区10クラス体制としました
- ▶子どもの貧困対策の充実を図っています（プロジェクト・対策会議・計画）

妊娠期から子どもの健やかな成長を見守る体制を整えます

- ▶子育て世代包括支援センターを設置しました

★「ヘルシースタート事業」を開始し、順次拡充を図っています

地域経営

- ★**「行財政改革大綱」や「公共施設等総合管理計画」を策定**
- ★**給与の適正化に向け市長を含めた職員給与の1%カットを実施（H30～R1）**
- ★**第三セクターの抜本的な見直しとして日向青果地方卸売市場を閉鎖**
- ★**職員の意識改革のため入庁3年目の若手職員を民間企業に研修派遣**
- ・自主財源確保対策として効果的な基金運用（債券運用）を開始
- ・新庁舎の事務効率化・サービス向上（レイアウトや番号発券機導入など）
- ・適正な管理と回収による債権の圧縮（H28～29の2年間で約1億8千万円）
- ・人材育成と組織力強化に向け職員の人事評価制度を導入
- ・まちづくり座談会・イベント等で市民の皆様とさまざまな意見を交換

令和元年度の主な事業

★ 細島小学校改築事業

教育環境及び防災力向上を図るため、校舎の改築と併せて地区公民館等の機能を備えた複合施設を整備します。

- 事業期間（平成30年度～令和3年度）
- 令和元年度は、実施設計を行う予定。



★ 日向市消防署南分遣所建設事業

南部地域の消防・救急体制の充実のための南分遣所への救急車配備に向けて、現在の国道10号沿いから旧幸脇小学校グラウンドへの移転・新築工事を行います。

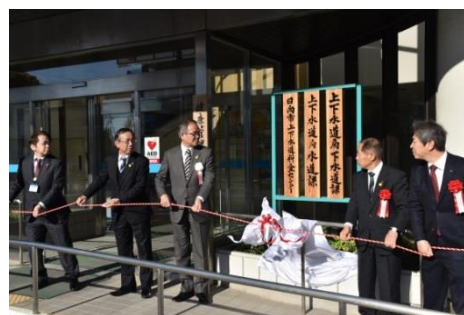
- 水槽付消防ポンプ自動車と救急車を配備予定



▶ 水道窓口業務の民間委託

市は、上下水道料金収納業務を平成31年4月から民間委託し、「日向市上下水道料金センター」を開所しました。民間企業のノウハウを導入し、事務の効率化や市民サービスの向上を図ることを目的としています。

- 平日は午後7時まで窓口営業



▶ その他の主な事業

★証明書のコンビニ交付の開始（令和元年11月から運用開始の予定）

- ◆市営住宅への指定管理者制度導入

★ぷらっとバスの日祝日運行を開始

- ◆全小中学校にコミュニティ・スクールを導入
- ◆小中学校の普通教室にエアコン設備を導入
- ◆体育館整備に特化した基本構想を策定
- ◆ヘルシースタート事業の充実（任意予防接種の導入等）
- ◆避難山、避難タワーの整備
- ◆「サーフタウン日向」の魅力発信 など



<本日は、ご参加いただきありがとうございました。>